

名古屋名駅ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



～人類に奉仕するロータリー～

Rotary
Club of Nagoya Meieki

名駅ロータリークラブ 会長方針「一隅を照らす」

スローガン「超我の奉仕」

名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル

会 長：藤井 圓隆
副 会 長：大輪 稔
幹 事：神保 誠
クラブ会報：川口 益弘

2016-17年度 R.I. 会長
ジョン F. ジャーム

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1208回例会

第2760地区西名古屋分区分IM (INTERCITY MEETING)

2017年3月24日(金)

ロータリー財団創立100周年記念 ～子供たちにポリオのない世界を～

(平成29年)晴 No.32

□出席報告(ビクター受付5名)会員総数79名(免除者14名)
義務者出席40名 免除者出席4名 総数44名
出席率57.97% 3月1日分修正出席率97.30%

3月22日(水)は例会変更し、24日(金)開催のIMに振替えました(ホストクラブ：名古屋みなとRC/於：名古屋東急ホテル 17:00～20:30)。

第1部 式典

◇司会 フリーアナウンサー 生田サリーさん
名古屋みなとRC 棚橋 顯君

◇「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◇黙祷 内藤明人パストガバナー(名古屋西RC)を偲んで

◇あいさつ 深谷友尋ガバナー補佐



今日はRI理事・斎藤直美パストガバナーはじめ、多くの皆様にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。

IMはロータリアンの友情を育み、ロータリー情報を提供する場です。今日は13クラブの活動報告など沢山の企画を用意しております。

今回のIMを開催するに当たり、梅田実行委員長はじめ、名古屋みなとRCの皆様にご多大なるご支援とご協力を賜り、感謝を申し上げます。

◇ロータリー財団100周年記念 ポリオ撲滅基金寄付目録、ロータリー米山記念奨学会寄付目録 贈呈

◇13クラブの活動紹介

◇基調講演：「ロータリーが変わる」

斎藤直美 国際ロータリー理事

2016年4月、規定審議会でクラブ運営のルールが変更され、柔軟性という例外規定を設け、クラブが自由にルールを採用してもいいことになりました



た。日本は規定審議会の決定に、「これはロータリーではない」「日本のロータリーには合わない」と毎年ブーイングをしていますが、これは世界のロータリアンの意思です。

今年1月の国際協議会ではガバナーエレクトに、「この決定を重視しなさい」と教育され、①クラブのありように多様性を持たせる、②会員資格に柔軟性を持たせる、この2つを活用した強いクラブ作りを求めています。

クラブ運営に苦勞されているクラブはすでに色々な変革を行っております。今、2760地区は順調ですが、場合によっては変革も必要になると思います。

◇次年度IMの紹介(ホストクラブ：名古屋東南RC)

第2部 記念講演



「エネルギー環境の近未来」

武田邦彦様

私の専門は資源学ですが、私が「石油はなくならない」と言うと日本では皆が笑います。地球が出来た時、空気中の95%は二酸化炭素でした。37億年前に誕生した生命は、二酸化炭素を食べて炭素と酸素に分離し、いらぬ酸素は放出して、炭素を自分の体やエネルギーにしてきました。その生物が死に、地下で炭素のまま貯蔵されたのが石油などの化石燃料です。酸素は地下の炭素とペアですから、化石燃料は空気中の酸素の分だけありま

3月は水と衛生月間です

< 例会開催予定 >

◇第1209回3月29日(水) 通常例会(カレー)
神野重行ガバナーエレクトより地区活動報告
新入会員卓話 恒川和男君
【例会後】第9回理事会

◇第1210回4月5日(水) 通常例会(立食)
誕生日・結婚記念日祝福
入会式
【例会後】第1回次期理事会

す。計算すると、石油の寿命は600万年になります。

地球を温暖化させる二酸化炭素は、昔は95%でしたが、今は0.04%です。そのため地球はどんどん寒くなっており、現代は第2氷河時代です。恐ろしいのは寒冷化です。これ以上二酸化炭素が減れば、稲などの植物も育たず、生物は全部餓死します。二酸化炭素を出した方が環境も景気も良くなりますので、ガンガン石油を使って楽しい生活をして下さい。

次に、ロータリークラブと寿命の関係についてお話しします。実は、健康と長生きは全然関係ありません。動物には寿命を決める3原則があります。

命の長さを決める第1原則が経験数です。振り返る動作が何千回、食事が何千回と、あらゆる動物で同じ数の経験をしたら、死のスイッチが入ります。

第2に、命は親から子へ、子から孫へとつながっています。子供より自分の命が大切と思う生物はいません。人間でも、自分の子供を可愛がったり、世話をしたりしている人は一般的に長寿です。

そして、動物は1匹では生きられません。集団に役に立たなくなると死にます。戦いに負けて群れからはぐれたオスは、病気でなくても死にます。寿命の第3原則は、人間的に言えば、社会に役立つかどうかで決まります。その意味で、世のためになることをしているロータリークラブの人は長寿です。

第3部 懇親会

懇親会では、梅田武久IM実行委員長、鈴木哲名古屋みなとRC会長のあいさつに続き、服部良男ガバナーからごあいさつを頂きました。乾杯の発声は盛田淳夫名古屋RC会長より頂きました。

◇あいさつ

服部良男ガバナー



RYLAセミナーを当地区がホストとして豊田で開催し、急いで駆けつけて参りました。

深谷ガバナー補佐のリーダーシップのもと、盛んにIMを開いて頂きありがとうございます。残り3ヶ月も、タイトルにある「財団100周年」

を記念して活動して頂ければと思います。

6月には、斎藤理事が理事になられて最初の世界大会がアトランタで開催されます。6月11日には日本人朝食会と、当地区のガバナークナイトがあります。皆さんとアトランタでお会いしたいと思います。

◇アトラクション

世界的に有名なジャズバイオリニスト・寺井尚子さんとジャズカルテットの演奏を楽しみました。



◇歓談（右）

◇手に手つないで

当クラブの清水順二君が「手に手つないで」のソングリーダーを務め、楽しい集いは幕を閉じました。（下）



台湾帰朝報告

3月21日(火)、22日(水)、23日(木)と台北建成RCの20周年記念式典に出席するために、24名の方々の参加を得て、台北に行つて参りました。台湾側はいつもながらの熱烈歓迎でありました。

今回のメインは、もちろん22日夜の20周年記念式典でしたが、急遽、当日の記念例会の前に、バングラデシュとスカイプでつないで竣工式が行えることになりました。ちょうど5年前の15周年の時に始まった事業に区切りをつけることが出来たのは、まさに仏のご加護と慶んでいる次第です。

台湾時間17時開始の予定でしたが、発電機を使った非常に不安定な環境下でのスカイプ中継ですので、現地とつながったのは約20分遅れとなりました。現地ランガバリの村長さんの挨拶、マイメイシンRCのザヒールホクさんの挨拶、SCIバングラデシュのバジジュさんの挨拶と続き、突然、現地の警察署長さんまでご挨拶頂きました。その後、名駅RCと台北建成RCの挨拶に続き、現地の建物に入れてもらったロゴの確認をさせて頂いたところで時間切れとなり、SCIジャパンの豊田さんの挨拶もそこそこに中継は終わりとなりました。

台北建成RCのライスさんと、SCIジャパンの豊田さんの数日間にわたる準備と設営のおかげで、何とか竣工式が出来ました。心から感謝申し上げます。

その後、メインの記念式典に入り、即、お能を一指し舞わせて頂きました。沢山の御来賓による祝辞の後、宴会に入り、楽しい時間を過ごしました。

これに先立ちまして、到着した21日の夜は、アンバサダーにて歓迎パーティがあり、田口元会長の三味線、コール・カメリアのコーラスも加わりました。2次会の設営もして頂き、夜遅くまで久しぶりの親交を深めました。

23日は、10時20分からのバングラデシュ会議の後、名駅RCからの返礼の昼食会を開かせて頂き、最後の別れを惜しましました。

以上、概略をご報告させて頂きました。正式には川村国際奉仕委員長から帰朝報告をして頂きます。

(藤井圓隆会長：記)